

製品名: カスパーゼ-11 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86937**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:43 kDa; Observed MW:43,38,25 kDa

抗原情報

遺伝子名	Caspase-11
別名	Casp1; ich-3; CASP-4; Casp11; CASP-11
遺伝子 ID	12363
SwissProt ID	P70343
免疫原	マウスカスパーゼ11の組み換えタンパク質

背景

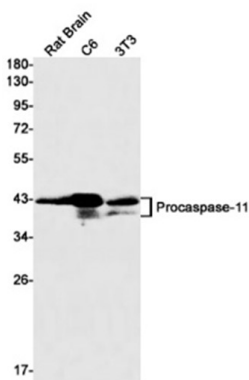
この遺伝子は、アポトーシス、細胞遊走、炎症反応において重要な役割を果たすシステインプロテアーゼの一種をコードしています

す。このタンパク質は、細菌感染時にマクロファージによる炎症性サイトカインの産生を媒介します。このタンパク質を欠損したマウスは、リポ多糖類によって誘発されるエンドトキシンショックに対して抵抗性を示します。スプライスアクセプタージャンクションを含む5塩基の欠失により、特定のマウス系統において選択的スプライシングと短い非機能的アイソフォームが生じることが報告されています。正式な命名法は「カスパーゼ4、アポトーシス関連システインペプチダーゼ」ですが、この遺伝子とそれがコードするタンパク質は、歴史的にはカスパーゼ11と呼ばれてきました。この遺伝子は、9番染色体上の3つのカスパーゼ遺伝子のクラスターに存在します。[RefSeq 提供、2015年4月]

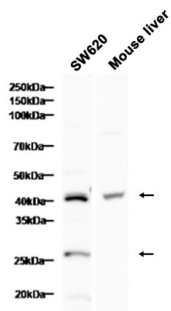
研究分野

-

画像データ



Caspase-11 抗体 (1:1000 希釈) を使用した C6、3T3、Hela 細胞溶解物中の Caspase-11 のウェスタン ブロット検出。



AMRe86937 を 1:1000 で使用して、SW620 細胞およびマウス肝臓組織からの抽出物のウェスタン ブロット分析を行いました。